

ステートメント

2022年、京都大学は創立125周年を迎え、
輝ける新たな出発点から、学問の更なる可能性を考究します。
自然を慈しむ心が萌芽させてきた瑞々しい感性。
文化を尊びながらも常に希求してきた革新性。
京都大学は、1200年という時が累なる古都・京都に流れる自然知・人文知の鉱脈を、
積極果敢に掘り起こし、切り開くことにより、
真理の探究と、地球規模の課題解決に敢然と立ち向かいます。
ここでこそ享受できる教育。ここでこそ取り組める研究。
京都大学は、国際的な交流を闊達にし、社会との連携を加速させて、
地球社会の調和ある共存に貢献します。

スローガン

京大力、新輝点。

京都大学 125 周年

「京大力」とは、文字通り、京大の力。
125年の歴史の中で培われ、さらに未来に向かって進化を続ける力。
知的好奇心が旺盛で、コミュニケーション能力に優れ、
誰も思いつかないようなことを閃き、自由闊達な議論を得意とする。
などなど。
京都大学に関わるすべての人が、それぞれに発揮する総合的かつ戦略的な力、
それが、京大力。
そんな京大力が、125周年を機に、新たなスタートを切ります。つまり、起点。
そんな京大力は、枠にとらわれない臨機応変さが持ち味です。つまり、機転。
ふたつの「キテン」に周年事業に相応しい「輝点」という文字を充て、
『京大力、新輝点。』
125 周年のスローガンとして、世の中に発信していきます。

シンボルマーク

シンボルマークは学内外より広く公募を行い、282件の応募の中から創立百二十五周年記念事業委員会において厳正な審査の結果、別紙画像のシンボルマークに決定しました。また、採用作品の最優秀受賞者である村永智彦氏に表彰式を開催し、山極壽一総長より表彰状と副賞が贈呈されました。



(上) シンボルマーク (右) 表彰式の写真



※デザインコンセプト

125 の「1」の部分を京都大学のシンボルである時計台に見立てることで、125 年の歴史のみならず、京都という土地の持つ1200 年に及ぶ時の累なりと、そこに流れる人文知・自然知の脈脈を暗示します。

躍動感のある立体的なビジュアルは、未来へ向かい真理を探究し、地球規模の課題解決に敢然と立ち向かう姿勢を表します。

スクールカラーの濃青を使用することで、京都大学ならではの教育と研究により、国際社会に通用する人材を輩出していく強い意思を示しています。

125周年記念事業の実施

京都大学は、125 周年を新たな飛躍の契機とすべく、記念事業を実施し、世界をリードする研究の推進と、次世代を担う人材育成に取り組んでいきたいと考えています。

記念事業では、国際競争力強化・研究力強化・社会連携推進という3 事業を展開することで、新たな知やイノベーションの創造、未来への指針の確立を目指します。

そして、記念事業への取り組みや、未来に向けて“京大力”を磨き続けるための運用原資として、京都大学基金では募金活動を実施します。

主な記念事業は以下のとおり

グローバルリーダーの育成 国際競争力の強化	・学部生・大学院生の交換留学制度の拡充
	・特に優秀な私費留学生の支援
	・海外大学との学生スポーツ・文化交流の実施 など
次代の“おもろい”若手の育成 研究力強化	・新たな給付型奨学金制度「125 周年奨学金」の創設
	・若手研究者への研究費支援に充てる学内ファンドの充実
	・若手研究者の登用の拡充 など
京都アカデミズムの創造発信 社会連携推進	・産官学連携「京大モデル」の構築
	・ベンチャーを育成する学内ファンドの拡充
	・アントレプレナー教育の支援 など

創立125周年記念事業特設サイト

創立125周年の3年前となる2019年6月18日、創立125周年記念事業特設サイト (<https://125th.kyoto-u.ac.jp>) を開設します。

特設サイトでは、本学の歴史を振り返るだけでなく、特徴ある学問・研究や多方面で活躍する同窓生を紹介していきます。今後、3年かけてコンテンツを充実させるとともに、125周年記念事業の詳細や進捗状況など様々な情報を発信していきます。

京都大学基金の募集について

125周年記念事業において、京都大学基金では募金活動を実施します。

人材育成を中心とする記念事業への取り組みや、未来に向けて“京大力”を磨き続けるための運用原資として活用していく予定です。

卒業生をはじめ保護者や地域、企業・団体など多くの皆様からのご寄付を賜りますようお願いいたします。